

暮らしの中からできることを始めてみましょう

普段の生活からプラスチックの3R、^{リデュース}Reduce（できるだけごみを出さない）・^{リユース}Reuse（繰り返し使う）・^{リサイクル}Recycle（資源に再生する）に取り組みましょう

お出かけ時

- マイボトルを持ち歩きましょう
- マイ箸・スプーンなどを持参しましょう
- プラスチック製のストローの使用は控えましょう
- レジャーや屋外などで出たごみは分別し、持ち帰りましょう
- ポイ捨てをしないようにしましょう



家庭で

- 食品トレーは販売店に返しましょう
- チャック付き容器やふた付き容器を活用しラップの使用を減らしましょう
- 使い捨てのコップやストローなどの使用を減らしましょう
- 繰り返し使えるものを利用しましょう
- プラスチックごみを捨てる場合は分別をしっかりと行い、指定袋に入れて出しましょう



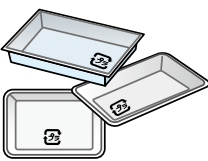
買い物先で

- マイバッグなどを持参し、レジ袋をもらわないようにしましょう
- スーパー等で食品を入れるポリ袋の使用を減らしましょう
- 使い捨て商品はできるだけ買わないようにしましょう
- シャンプーなどは詰め替え製品を選びましょう
- 包装材の少ないものを選びましょう



プラスチック製容器包装の
分け方・出し方ー改めて確認を！

◎商品が入っていたプラスチック製の「容器」や「包装」は、分別して指定袋に入れ、週1回の収集日に出しましょう



このマークが目印です

- ◎中身を使い切った後に、汚れは軽くすすぐか、布などで拭く
- ◎プラスチック以外の部分は取り除く
- ◎プラスチック製容器包装指定袋に、まとめて入れる（つぶしてもOK）

⚠プラスチック製おもちゃ等の「商品（製品）」は家庭ごみとして収集します



株式会社ローソン × 仙台市
ワンウェイプラスチック
削減キャンペーン

市内のローソン対象店舗で500円（税込）以上購入した方で、レジ袋を購入しない、またはスプーン・フォークを断った場合に応募券を進呈。抽選でご当地名産品などが当たります！

	第1弾	第2弾
応募券配布期間	10/1(木)～30(金)	11/5(木)～30(月)
応募期間	平日限定 11:30～13:30	
応募方法	対象の方に配布される応募券のQRコードから応募フォームへアクセス。応募券にあるパスコードと必要事項を入力して応募	

※対象店舗など詳しくはキャンペーンサイト<https://pla-reduce.jp/>をご覧ください

問仙台市プラスチックごみ削減チャレンジ2020事務局
☎714・8310

この特集に関するお問い合わせは、家庭ごみ減量課☎214・8229、FAX214・8277

減らす・使わない
今からできること

ープラスチックごみ削減



プラスチックごみのことを知っていますか

ペットボトルや食品トレー、おもちゃなど、私たちの生活の中にあふれているプラスチック。軽くて加工しやすく、便利な素材であることから、多くの製品に利用される一方で、使い捨てにされるものも少なくありません。

ポイ捨てや不法投棄されたプラスチックごみが海に流れ込む、海洋プラスチックごみが世界的な問題になっています。陸から海に流れているプラスチックは自然分解されず、波の力や紫外線の影響などで細かく砕け、マイクロプラスチック（5ミリメートル以下の微細なプラスチック）として海に残り続けます。それを魚が餌と間違えて食べてしまうなど、海洋生態系への影響が懸念されています。

平成30年の国連環境計画の報告書によれば、日本は1人当たりのプラスチック容器包装の廃棄量が世界で2番目の多さです。さらに本市でも4月以降プラスチック製容器包装の収集量が増加しており、背景として新型コロナウイルス感染症の影響により食品の持ち帰りが増えたことなどが考えられます。市では、7月に若林区荒浜の海岸で漂着物の実態を調査。ガラス

や金属などのさまざまな漂着物が見られた中で、ペットボトルやレジ袋などのプラスチックごみは、自然物に次いで割合が高く、海洋プラスチックごみ問題は私たちの身近なところでも起きていることが分かりました。

できることから減らす工夫を

国はプラスチックごみを削減し資源循環を総合的に推進するため、令和元年5月に「プラスチック資源循環戦略」を策定。今年7月よりレジ袋の有料化を義務付けたほか、令和12年までに使い捨てプラスチックを累積25パーセント排出抑制する等の目標を掲げました。市でも「プラスチックごみ削減チャレンジ2020」キャンペーンを展開し、情報発信や啓発の取り組みを進めています。

私たちの生活と密接に関わっているプラスチックごみ。マイボトルを持ち歩くなどできるだけプラスチックの使用を減らすことが大切です。そして、プラスチック製容器包装は適正に分別することで、資源として再利用できます。一人一人の行動の積み重ねがプラスチックごみの削減につながります。生活スタイルを見直し、自分自身でできることから始めてみませんか。